FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix1300

1.3 MEGA PIXELS

使 用 説 明 書

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックス 1300の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

BB11884-100(1)

目　次

1 準備編

2 基本編

3 応用編 撮影

撮影メニュー

4 応用編 再生

5 設定編

1 2 3 4 5

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- 本カメラはクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

カメラの特長/付属品

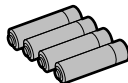
カメラの特長

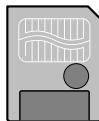
- 131万画素CCDと高解像度フジノンレンズによる高画質
- 記録画素数最大1280×960ピクセル
- コンパクト軽量ボディー
- 1.6型カラー液晶モニター
- 広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- 高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
- 撮影条件の細かな設定が可能なマニュアル撮影モード
- デジタル2×拡大撮影機能/1.2〜4倍ズーム再生機能
- モードダイヤルと十字ボタンによる簡単操作
- 大容量メモリーカード・スマートメディア（SmartMedia™）対応
- 撮影日時の記録・再生機能
- USB接続により簡単・高速に画像データ転送が可能（付属のインターフェースセット使用）
- DPOF（Digital Print Order Format）対応でプリント注文が簡単に
- 業界統一規格DCF*準拠

＊DCFは日本電子工業振興協会（JEIDA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

※フロッピーディスクアダプターFD-A2B、イメージメモリーカードリーダーSM-R2、PCカードアダプターPC-AD3Bを使えば、パソコンとの連携も一層便利です。

付属品

●単3形アルカリ乾電池 LR6（4本）

●スマートメディア MG-8S（1枚）

付属品：
静電気防止ケース（1個）
インデックスラベル（1組）

●ハンドストラップ（1本）

●USBインターフェースセット（1式）

- CD-ROM：Utilities for FinePix（1枚）
- 専用USBケーブル（1本）
- 簡単操作ガイド（1部）

●使用説明書（本書1部）

●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

各部の名称

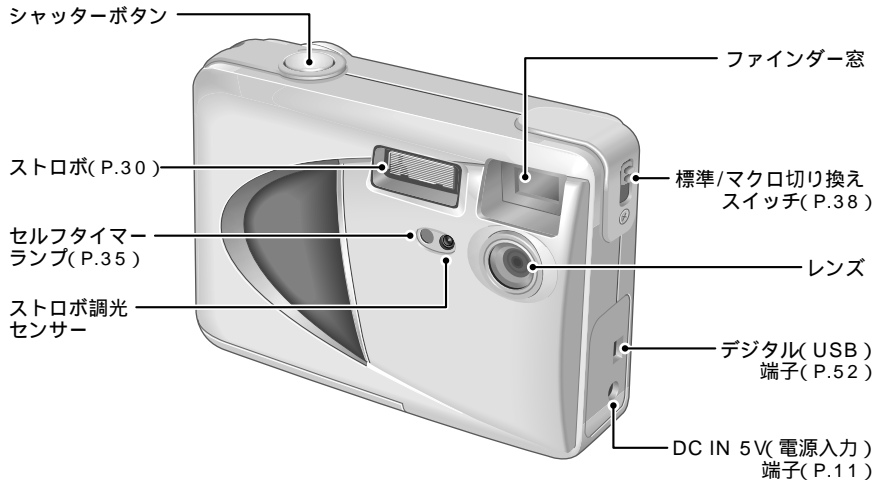
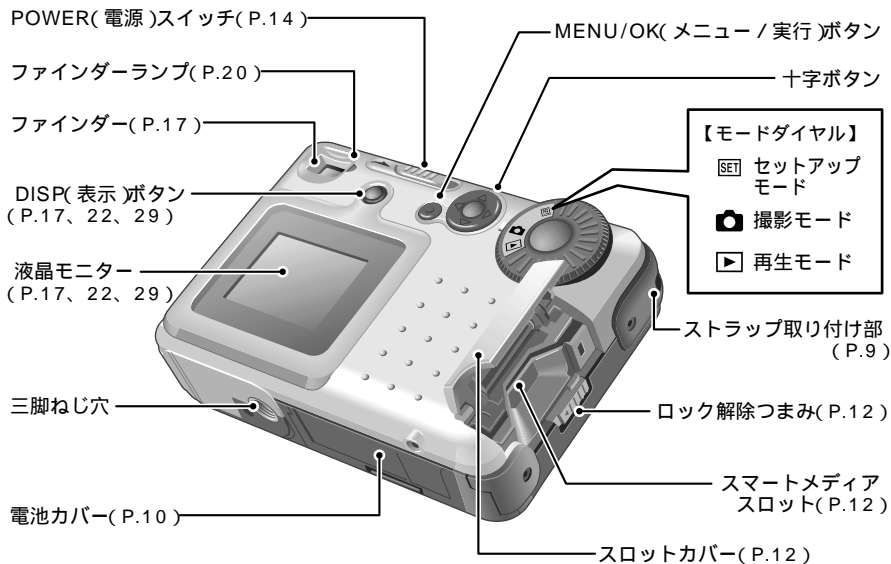
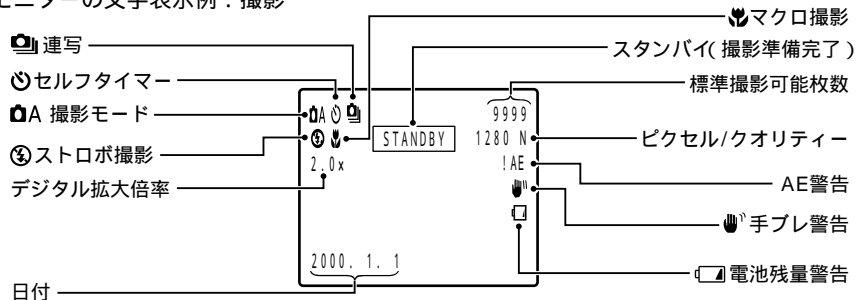
＊（　）内のページに操作の説明があります。

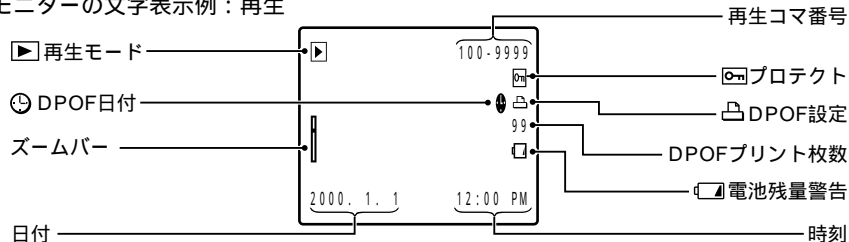
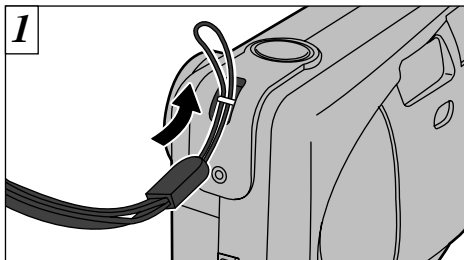
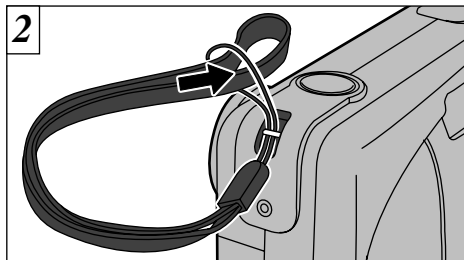
POWER（電源）スイッチ（P.14）
ファインダーランプ（P.20）
ファインダー（P.17）
DISP（表示）ボタン
（P.17、22、29）
液晶モニター
（P.17、22、29）
三脚ねじ穴
電池カバー（P.10）
MENU/OK（メニュー／実行）ボタン
十字ボタン
【モードダイヤル】
SET セットアップモード
撮影モード
再生モード
ストラップ取り付け部
（P.9）
ロック解除つまみ（P.12）
スマートメディアスロット（P.12）
スロットカバー（P.12）

各部の名称

液晶モニターの文字表示例：撮影

連写
セルフタイマー
A 撮影モード
ストロボ撮影
デジタル拡大倍率
日付
マクロ撮影
スタンバイ（撮影準備完了）
標準撮影可能枚数
ピクセル/クオリティー
AE警告
手ブレ警告
電池残量警告

A
9999
STANDBY
1280 N
2.0X
!AE
2000. 1. 1

液晶モニターの文字表示例：再生

ストラップを取り付けます

ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。

次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

電源をセットします

電池で使う

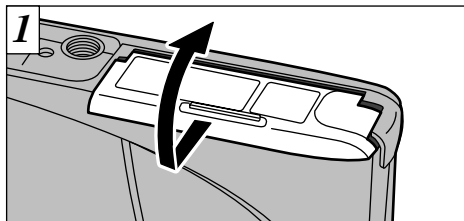
単3形アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、またはニカド電池で、同種のものを4本使用します。

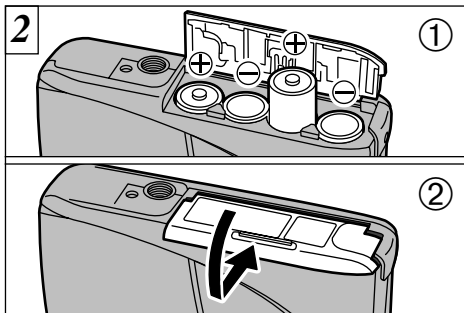
■電池撮影可能枚数(充電式電池はフル充電した場合)

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。

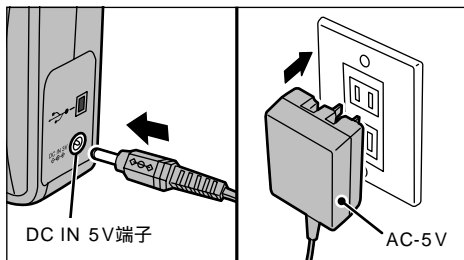
電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約260枚	約800枚
ニッケル水素電池 HR-AA	約300枚	約800枚
ニカド電池 KR-AA(HP)	約180枚	約500枚

◆電池について◆

- アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命(使用時間)がかなり短い場合があります。
- 特にアルカリ乾電池はその特性上、寒冷地(+10℃以下)では使用時間が短くなります。
- リチウム電池やマンガン乾電池は発熱などにより、本機の故障の原因になることがありますので使用しないでください。

電池カバーを矢印方向にスライドさせてから開けます。

- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります(➡64ページ)。
- 新しい電池と使用した電池を、混ぜて使用しないでください。
- 電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らないと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池、ニカド電池の充電には、別売の急速充電器(➡60ページ)が必要です。
- 各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約10分以上経過していれば、それぞれを取り外して放置しても、約20分保持されます。電池交換後は、日付設定などをご確認ください。

①電池を表示に従って正しくセットします。
②電池カバーを矢印のように閉めます。

! 電池カバーに無理な力を加えないでください。
! 開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

ACパワーアダプター（別売）で使う

**電池の消耗を気にせず撮影・再生で使用するには、専用のACパワーアダプターAC-5VまたはAC-5VH（別売）のご使用をおすすめします。
カメラの電源が切れていることを確認してから、AC-5V/AC-5VHの接続プラグをカメラの“DC IN 5V”端子に差し込みます。その後、AC-5V/AC-5VHを電源コンセントに差し込みます。**

! AC-5V/AC-5VH以外をお使いになると、本機の故障の原因になることがあります。
! ACパワーアダプターを接続しても、電池の充電はできません。
! ACパワーアダプターについて、詳しくは65ページをご参照ください。

1

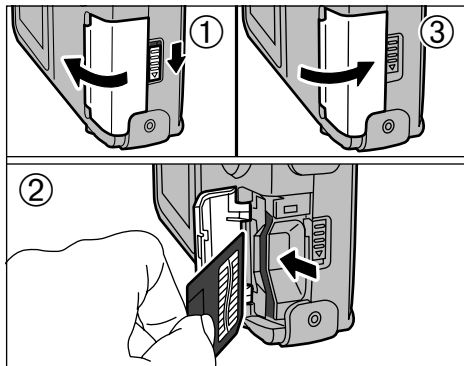
スマートメディア™をセットします

スマートメディア™

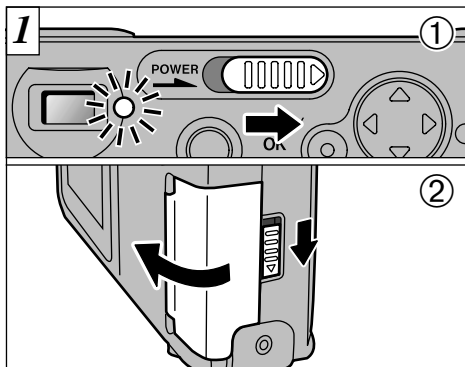
スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

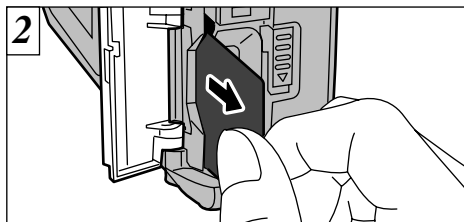
●MG-4SB(4MB)
●MG-8SB(8MB)
●MG-16SB(16MB)
●MG-32SB(32MB)
●MG-16SW(16MB:ID付き)
●MG-32SW(32MB:ID付き)
●MG-64SW(64MB:ID付き)

❗ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡46ページ)。
❗本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
❗3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

スマートメディアに記録する場合は、必ず本カメラでスマートメディアのフォーマット(初期化➡41ページ)を行ってください。

①電源が切れていることを確認し、ロック解除つまみでロックを外しスロットカバーを開けます。
②スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。
③スロットカバーを閉めます。

❗電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
❗スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

スマートメディア™を取り出します

①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります(➡14ページ)。
②スロットカバーのロックを外し、カバーを開けます。

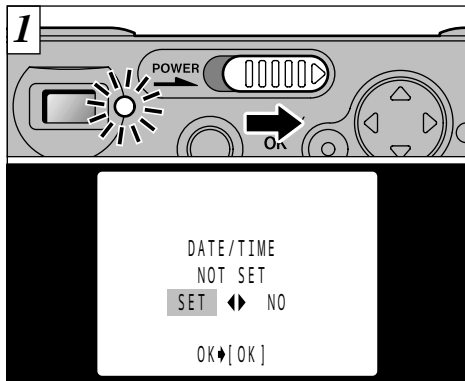
電源を切らずにスロットカバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

スマートメディアをつまんで取り出します。

1

❗スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。
❗スマートメディアについて、詳しくは66ページをご参照ください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

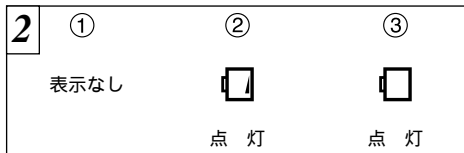
- プリントするには、47、59ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、52、53、59ページをご参照ください。

電源のON/OFF

電源を入/切するには、" POWER " スイッチを矢印方向にスライドさせます。電源を入れるとファインダーランプ（緑）が点灯します。

日付がセットされていない場合は、確認画面が表示されます。" ◀▶ " で次のどちらかを選び、" MENU/OK " ボタンを押します。

" SET "　:日付設定画面に切り換わります。（➡16ページ）

" NO "　:撮影/再生/セットアップモードになります。

! 日付をセットしないと電源を入れるたび確認画面が表示されます。すぐに" SET "することをおすすめします。

液晶モニターで電池残量警告を確認できます。

①電池の容量は十分です（表示なし）。

②電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池の交換をおすすめします。

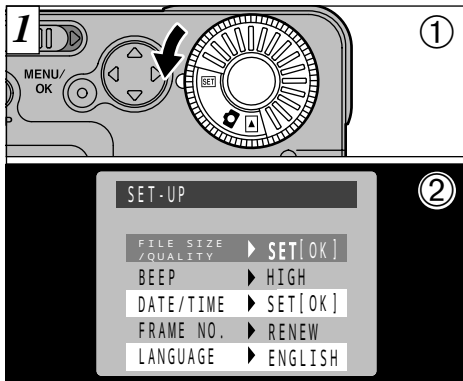
③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

! 電池が消耗している場合、液晶モニターをONにできないことがあります。

◆オートパワーオフ機能◆

電源を入れたまま約2分間放置すると、電源が自動的に切れます。

" MENU/OK "ボタンを押しながら電源を入れると、オートパワーオフ機能が無効になります。

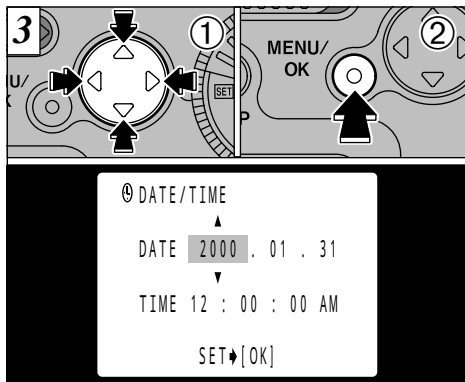
日時を合わせます

①モードダイヤルを“ SET ”に合わせます。
②“ SET-UP ”(セットアップ)画面に切り換ります。

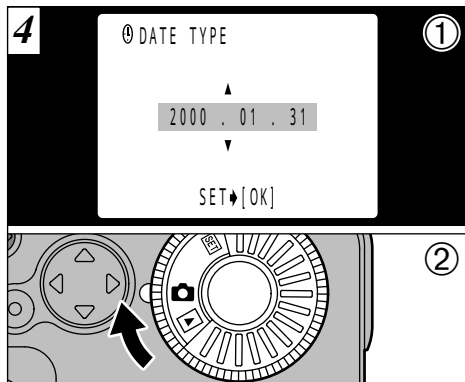
①“ ▲▼ ”で“ DATE/TIME ”(日時セット)を選びます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押します。

電源を入れたときに日付がクリアされていると、確認画面が表示されます。“ SET ”(セット)を選んだ場合は、次のページの3から操作してください。

❗各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約10分以上経過していれば、それぞれを取り外して放置しても、約20分保持されます。電池交換後は、日時設定などをご確認ください。
❗“ SET ”セットアップのメニューについて、詳しくは54ページをご参照ください。

1

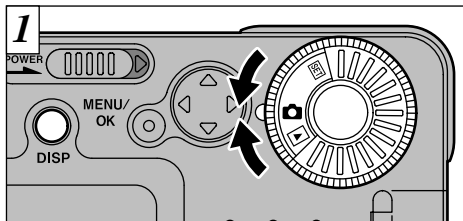
日時を合わせます

①“ ◀▶ ”で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”を押して修正します。
②合わせ終わったあと、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❗時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“ MENU/OK ”ボタンを押します。
❗秒は設定できません。
❗時刻表示で“ 12:00 ”を越えると自動的にAM/PMが切り換わります。

①“ ▲▼ ”で液晶モニターに表示される日付の表示順を選び、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

年.月.日 ⟷ 月/日/年 ⟷ 日.月.年

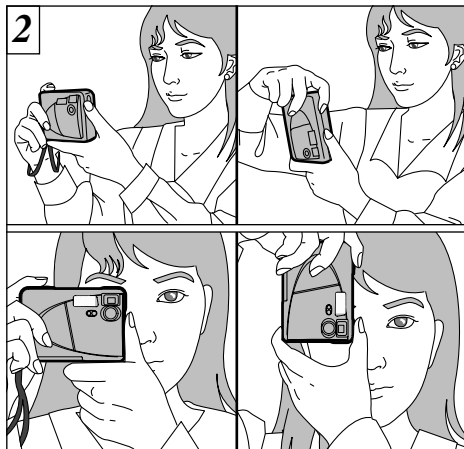
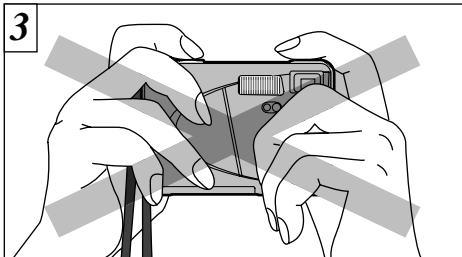
②モードダイヤルを“ 📷 ”(撮影)または“ ▶ ”(再生)に合わせると、セットアップを終了します。

❗撮影モードでの日付表示は、約3秒で消えます。

撮影してみましょう(オート撮影)

モードダイヤルを“ ”に合わせます。
ファインダー撮影(マクロ撮影を除く)では、“ DISP ”ボタンを押して、液晶モニターをOFFにすることをおすすめします。

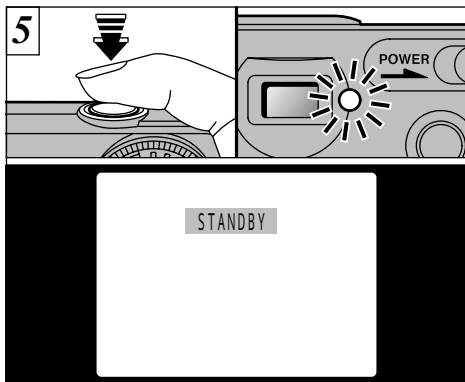
“ A ”では“ DISP ”ボタンを押すたびに、「液晶モニターON」→「文字表示なし」→「液晶モニターOFF」の3つの状態を切り換えます(マクロ撮影をのぞく)。

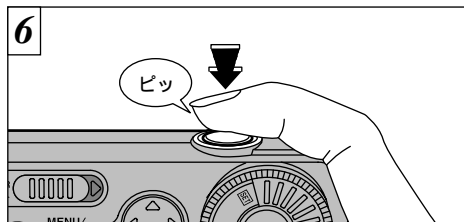
- **撮影可能距離**
  約70cm〜無限遠

! 近距離撮影ではマクロ設定をしてください(➡38ページ)。

ストラップに手首を通し、脇をしめて両手でカメラを構えます。
縦位置撮影ではシャッターボタンが上にくるように構えます。

レンズやストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップがかからないようにしてください。

液晶モニターまたはファインダーを使って被写体が中央付近にくるようにねらいます。

- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は63ページを参照してレンズをきれいにしてください。
- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。

- 撮影モードでの日付表示は、約3秒で消えます。

シャッターボタンを半押しして液晶モニターに“ STANDBY ”と表示されるか、ファインダーランプ（緑）が点滅から点灯に変われば、露出合わせ（AEロック（➡20ページ））は完了です。

- 70cm以内に近づくと“ STANDBY ”と表示されてもピントが合いません。
- シャッターボタンを全押しした場合は“ STANDBY ”は表示されません。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと、“ ピッ ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像データが記録されます。

- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、2コマ減る場合があります。
- 警告表示については、68ページをご参照ください。

画像記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。画像データが破壊消去される原因になります。

■AEロック

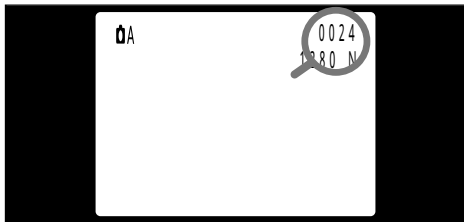
このカメラでは、シャッターボタンを半押しすると露出を固定（AEロック）します。露出を決めてから構図を変えたい場合には、AEロックしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

! 薄暗いシーンなど、液晶モニターで被写体の確認がしにくい場合は、ファインダーの使用をおすすめします。

! 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

■ファインダーランプ表示について

色	状態	内容
緑	点灯	準備完了
	点滅	AE動作中または手ブレ警告
橙	点灯	スマートメディアに記録中
	点滅	ストロボ充電中
赤	点滅	●**スマートメディアについての警告** 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡68ページ）。

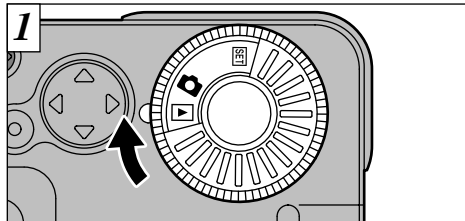
撮影可能枚数について

液晶モニター（左図の位置）に撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル（画像サイズ）設定の変更とクオリティー（圧縮率）設定の変更は、54ページをご参照ください。
- 工場出荷時設定は、NORMAL（クオリティー）、1280×960（ピクセル）です。

■スマートメディア標準撮影枚数 ［撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。］

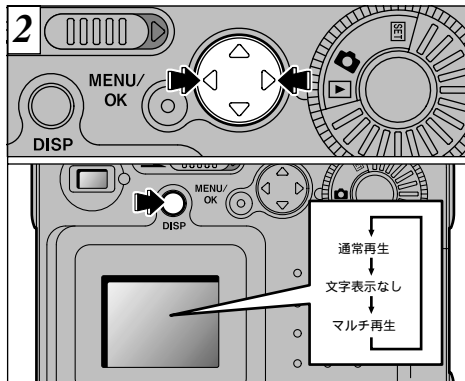
ピクセル	1280×960			640×480
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	NORMAL
画像圧縮率	約1/4	約1/8	約1/16	約1/8
画像1枚のデータサイズ	約610KB	約310KB	約160KB	約90KB
MG-4S（4MB）	6	12	23	44
MG-8S（8MB）	12	24	47	89
MG-16S（16MB）	25	49	89	164
MG-32S（32MB）	50	99	180	330
MG-64S（64MB）	101	198	362	663

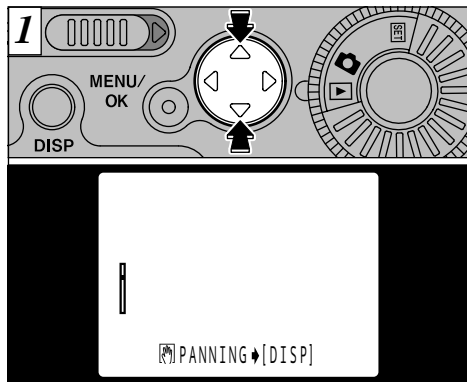
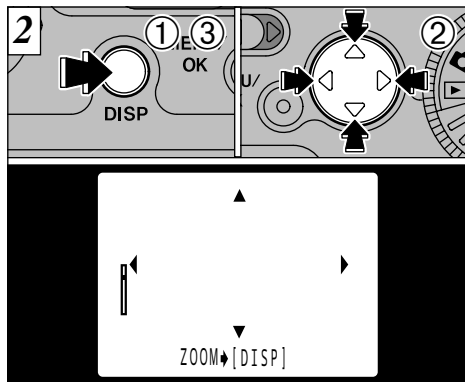
2

▶ 画像を見るには（再生）

モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせます。

❗ モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
❗ 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡58ページ）。

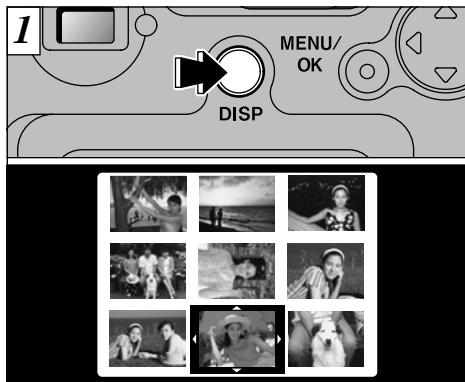
◆再生できるデータについて◆

本機で記録した静止画データ、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、またそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画（一部非圧縮を除く）データが再生できます。

“ ▶ ”で順送り、“ ◀ ”で逆送りして画像を見ることができます。
“ DISP ”ボタンを押すたびに液晶モニターの表示が図のように切り換わります。

▶ 再生ズーム

再生中に“ ▲▼ ”を押すと、ズームバーの範囲内で画像をズームします。

ズームしたあとに、
①“ DISP ”ボタンを押します。
②“ ▲▼◀▶ ”を押すと、見える範囲が移動できます。
③再度“ DISP ”ボタンを押すと、ズームに戻れます。

❗ズーム倍率は最大4.0×です。
❗ズーム中に“ ◀▶ ”ボタンを押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

❗“ MENU/OK ”ボタンを押すと、画像が元に戻ります。

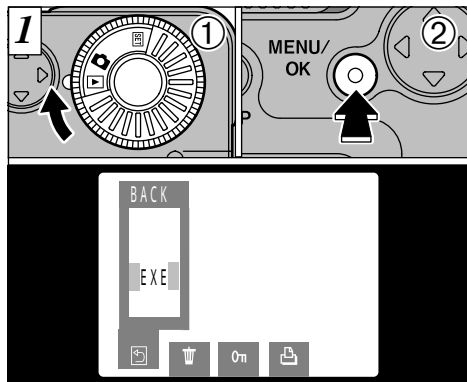
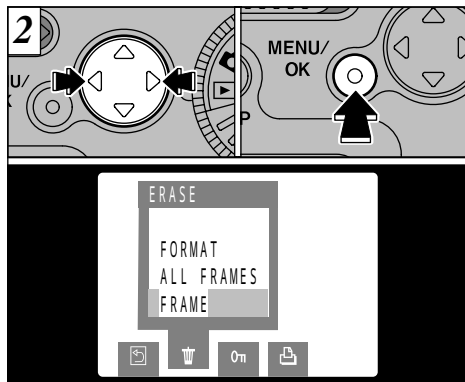
2

▶ マルチ再生

“ DISP ”ボタンを2回押すと、マルチ再生(9コマ)画面になります。

①“ ◀▶ ”、“ ▲▼ ” でカーソル(橙色の枠)を動かして、コマを選べます。
数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと、次の画面に切り換わります。
②もう一度“ DISP ”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示できます。

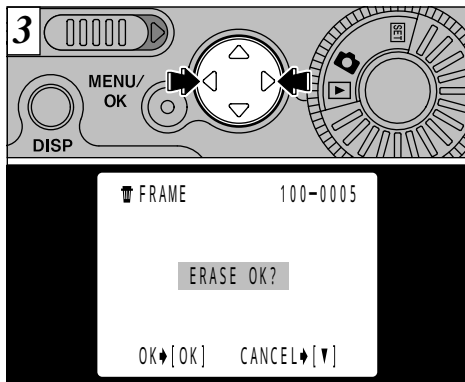
❗メニュー画面ではマルチ再生できません。
❗マルチ再生画面の液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。

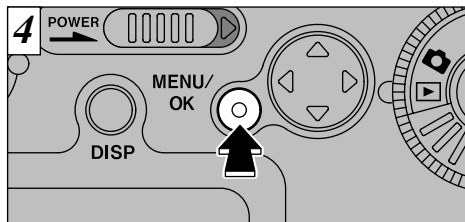
❗マルチ再生では“ MENU/OK ”ボタンは無効です。

▶ ➡ 🗑 画像を消すには（1コマ消去）

①モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

①“ ◀▶ ”で“ 🗑 ERASE ”（消去）の“ FRAME ”（1コマ）を選びます。
②“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❗メニューを終了するには“ ⎗ BACK ”（戻る）を選び、“ MENU/OK ”ボタンを押してください。

❗全コマ消去、フォーマットについて詳しくは41〜42ページをご参照ください。

▶➡🗑 画像を消すには(1コマ消去)

“ ◀▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

1コマ消去をやめたい場合は、“ ▼ ”を押しメニューに戻ります。メニューを終了するには“ ◀ ”で“ BACK ”(戻る)を選び、“ MENU/OK ”ボタンを押してください。

“ MENU/OK ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ ERASE OK? ”が表示されます。
消去をやめ、メニューに戻るには“ ▼ ”を押します。

“ PROTECTED FRAME ”が表示された場合、プロテクトをリセットする必要があります(➡43〜46ページ)。

“ DPOF ”が表示された場合は、DPOF設定をリセットする必要があります(➡49〜51ページ)。

消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

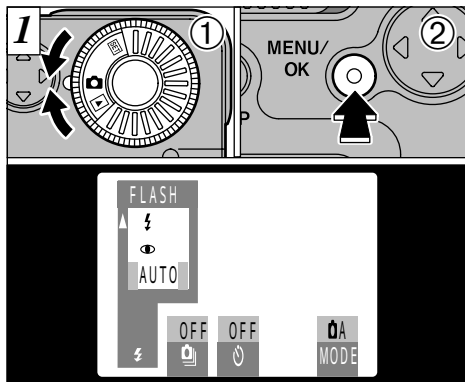
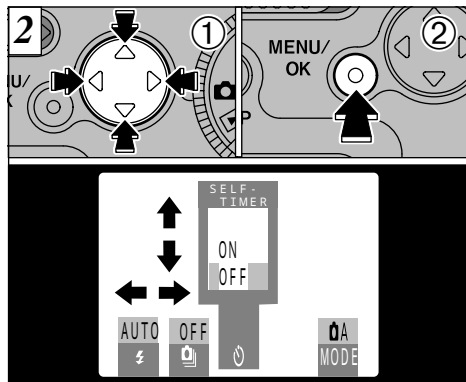
応用編 撮影では

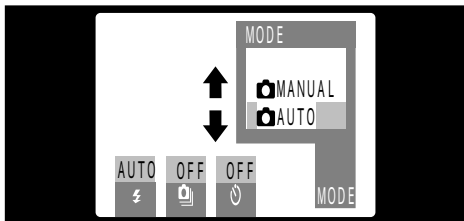
応用編　撮影では、モードダイヤルを“ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

■撮影メニュー一覧

撮影モード	設定メニュー		工場出荷時
A オート	ストロボ（➡30ページ）	[AUTO/ / / /S]	AUTO
	連写（➡33ページ）	[ON/OFF]	OFF
	セルフタイマー（➡34ページ）	[ON/OFF]	OFF
M マニュアル	ストロボ（➡30ページ）	[AUTO/ / / /S]	AUTO
	明るさ（➡36ページ）	[－0.9～＋1.5]	0
	WB ホワイトバランス（➡37ページ）	[AUTO/ / /1/2/3/]	AUTO

＊ストロボ撮影と連写は併用できません。

撮影メニュー 撮影メニューの操作

①モードダイヤルを" 📷 "に合わせます。
②" MENU/OK "を押して液晶モニターにメニューを表示します。

①" ◀▶ "でメニューを選択し、" ▲▼ "で設定を変更します。
②" MENU/OK "を押すと、撮影画面に戻ります。

撮影メニュー モードの切り換え

“ AUTO ” か “ MANUAL ” を選んで、“ MENU/OK ” を押します。

A オート

もっとも簡単に撮影ができる、撮影用途の広いモードです。

＊“ ”(➡30ページ)、“ ”(➡33ページ)、“ ”(➡34ページ) の設定ができます。

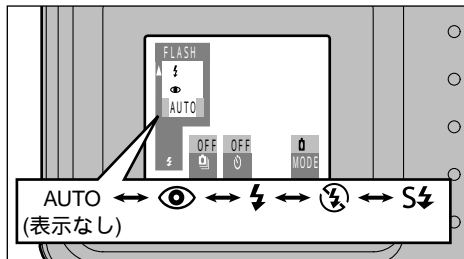
M マニュアル

メニューの各種設定を組み合わせて撮影できるモードです。

＊“ ”(➡30ページ)、“ ”(➡36ページ)、“ WB ”(➡37ページ) の設定ができます。

“ M ”では“ DISP ”ボタンを押すたびに、「文字＋映像表示」→「映像のみ表示」→「文字のみ表示」の3つの状態を切り換えます。

3

撮影メニュー ストロボ撮影

撮影の目的に合わせて5種類のストロボ撮影が選べます。

● **ストロボ撮影可能距離**
約0.7～3.0m

オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

- ストロボ撮影と連写は併用できません。
- ストロボ発光禁止に設定した場合は、電源を入れてから撮影可能になるまでの時間が短くなります。
- ストロボを発光禁止からそれ以外に切り換えた場合、充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときファインダーランプが橙色で点滅します。

◉ 赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

ϟ 強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ撮影

ストロボ発光禁止

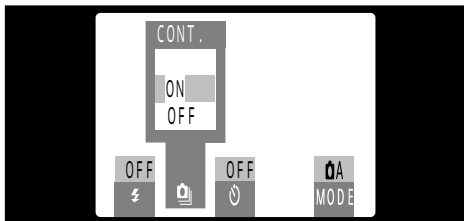
**ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡62ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。**

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については、20、69ページをご参照ください。

S⚡ スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

撮影メニュー 連写

撮影モードが“ A ”で設定できます。
“ ON ”にすると、次の設定が自動的に切り換ります。

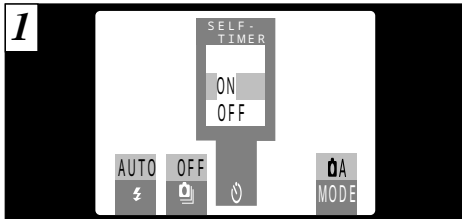
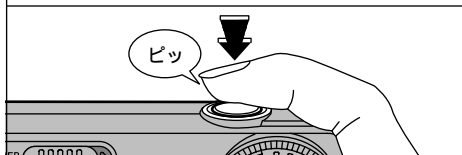
ピクセル :“ 640×480 ” に固定
ストロボ：発光禁止モードに固定

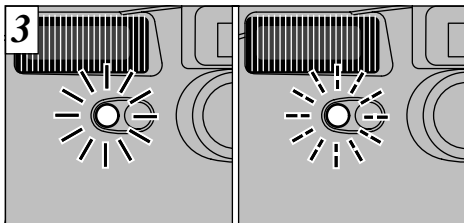
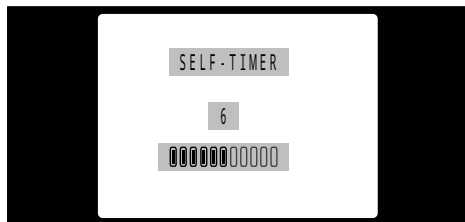
シャッターボタンを押している間、連続撮影します。

● **連写仕様**
秒間撮影枚数：約2コマ
連続撮影枚数：最大9コマ
画像サイズ　：640×480ピクセル固定

- 連写時は、液晶モニターOFFにはできません。
- 露出・ホワイトバランスは、シャッターボタンを押したときの状態で固定されます。
- セルフタイマー撮影時は、9コマ撮影されます。
- デジタル拡大撮影もできます。

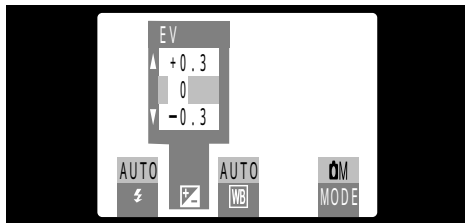
3

撮影メニュー セルフタイマー撮影

撮影モードが“ A ”で設定できます。
“ ON ”にすると、セルフタイマー撮影になります。

被写体がファインダーまたは液晶モニターの中央付近にくるようにし、シャッターボタンを押すと中央付近のものに露出が合い、セルフタイマーがスタートします。

- AEロック撮影もできます（➡20ページ）。
- カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。

3

- 撮影後はセルフタイマー設定は解除されます。
- スタートしたセルフタイマー撮影は、“ ▼ ”を押すと解除できます。

撮影メニュー 明るさ（露出補正）

撮影モードが“ M ”で設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲は9段（−0.9〜+1.5EV，約0.3EVステップ）です。EVについては62ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正

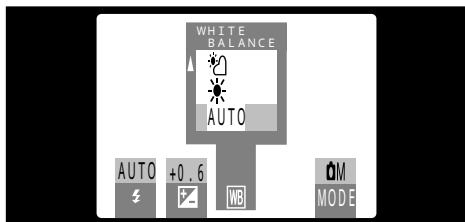
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6〜＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

−（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（−0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（−0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（−0.6EV）

＊（　）内は補正のめやすです。

次のような状態では、“明るさ”設定が無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光ストロボで撮影シーンが暗いとき

撮影メニュー WB ホワイトバランス

撮影モードが“ M ”で設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては62ページをご参照ください。

AUTO ：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
1 ：昼光色蛍光灯下での撮影
2 ：昼白色蛍光灯下での撮影
3 ：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

3

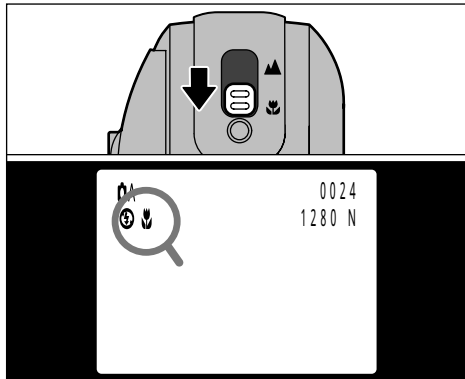
マクロ（近距離）撮影

マクロ機能を使うと、近距離撮影ができます。

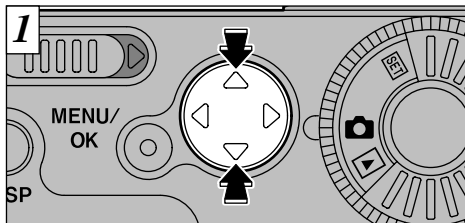
●撮影可能距離　約8〜15cm

また、ストロボが“オート”または“赤目軽減”のときは、自動的に“発光禁止”に設定されます。

- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- ストロボを発光させる場合はメニューを表示して、“強制発光”または“S スローシンクロ”に設定してください。ただし、適正な露出が得られない場合があります。

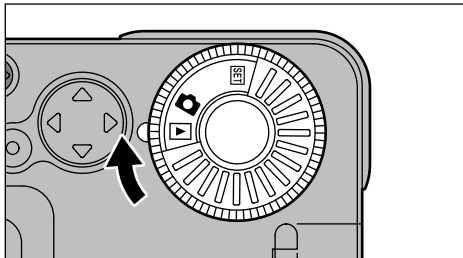
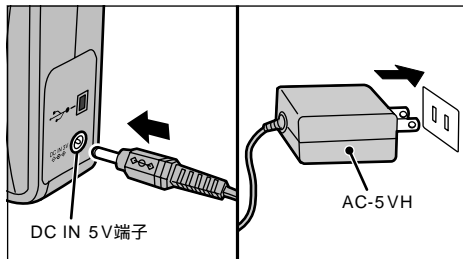
マクロ撮影でファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

標準/マクロ切り換えスイッチを“ ”側にすると、液晶モニターに“ ”が表示され、マクロ撮影になります。
標準/マクロ切り換えスイッチを“ ”側にすると、マクロ撮影が解除されます。

- 液晶モニターは自動的にONになります。
- マクロ撮影を解除すると、ストロボはマクロ撮影にする前の設定に戻ります。液晶モニターはONの状態のままです。

デジタル拡大撮影

デジタル拡大撮影は、画面中央部分を拡大して撮影できます。
ピクセル設定が“ 640×480 ”で液晶モニターを使った撮影のみで使えます。

撮影時に“ ▲ ”を押すと拡大し、液晶モニターに“ 2.0× ”と表示されます。“ ▼ ”を押すと元に戻ります。

3

応用編 ▶ 再生では

ここでは、モードダイヤルを“▶”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードダイヤルが“▶”に合っていることを前提に説明します。

コンセントが近くにある場合は、画像を再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH（別売）の使用をおすすめします（➡11、60ページ）。

再生ﾒﾆｭｰ 🗑 1コマ・全コマ消去/フォーマット

FRAME（1コマ消去）

選んだ画像だけを消去します。

❗ プロテクトした画像（➡43、45ページ）、DPOFセットした画像（➡49、51ページ）は消去できません。

ALL FRAMES（全コマ消去）

すべての画像を消去します。

❗ プロテクトした画像、DPOFセットした画像は消去できません。

FORMAT（フォーマット）

すべてのデータを消去してこのカメラ用に作り直します（スマートメディアの初期化）。

❗ プロテクトした画像、DPOFセットした画像も消去します。

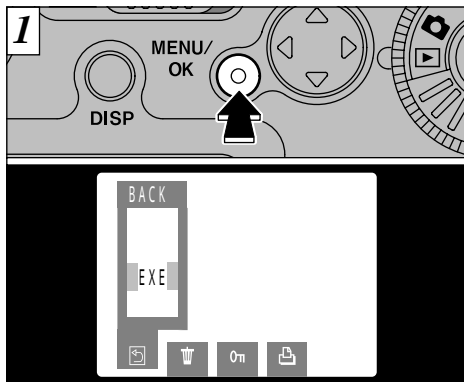
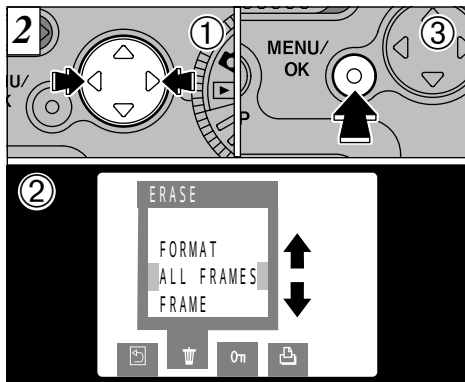
❗“ CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

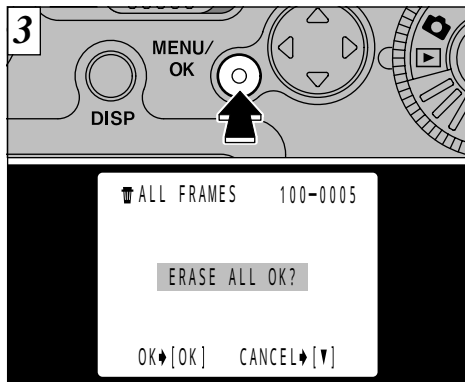
❗“ CARD NOT INITIALIZED ”が表示された場合には、フォーマットをしてください。

“ MENU/OK ”を押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

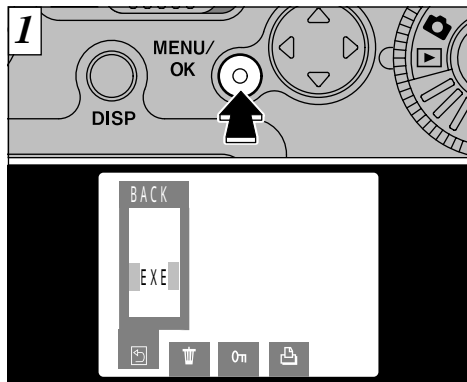
❗ メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

4

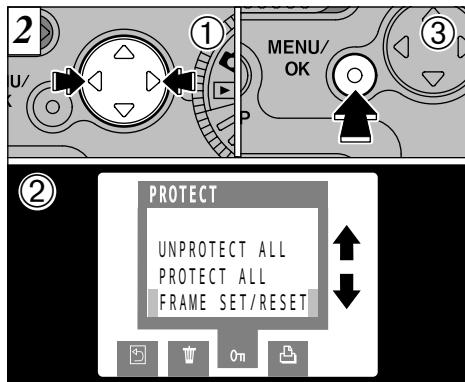
再生メニュー 🗑 1コマ・全コマ消去/フォーマット

①"◀▶"を押して"🗑ERASE"(消去)を選びます。
②"▲▼"で"FRAME"(1コマ)か"ALL FRAMES"(全コマ)か"FORMAT"(フォーマット)を選びます。
③"MENU/OK"を押します。

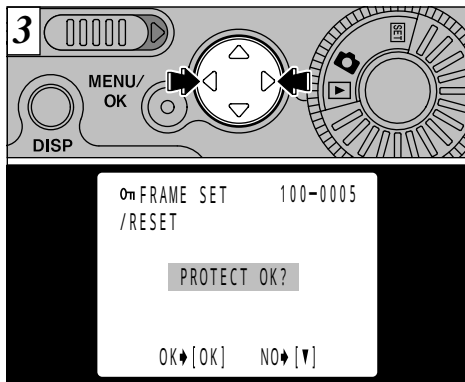
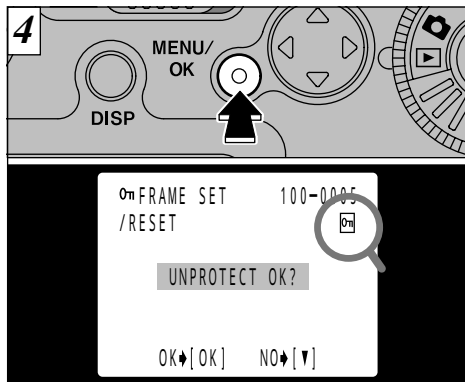
フォーマットするとすべての画像が消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。全コマ消去かフォーマットでは、OKなら"MENU/OK"を押して実行します。1コマ消去では消去したい画像を"◀▶"で選んでから、"MENU/OK"を押します。

❗1コマ・全コマ消去/フォーマットをやめたい場合は、"▼"を押してください。
❗"PROTECTED FRAME""DPOF"が表示された場合は、設定をリセットしてください。

再生メニュー O┳ 1コマプロテクト セット/リセット

“ MENU/OK ”を押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

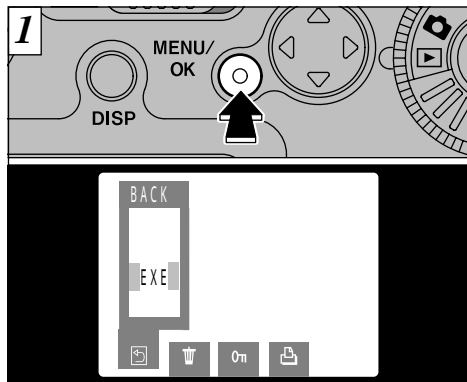
❗ メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます(➡41ページ)。

①“ ◀▶ ”を押して“ O┳PROTECT ”(プロテクト)を選びます。
②“ ▲▼ ”で“ FRAME SET/RESET ”(1コマ セット/リセット)を選びます。
③“ MENU/OK ”を押します。

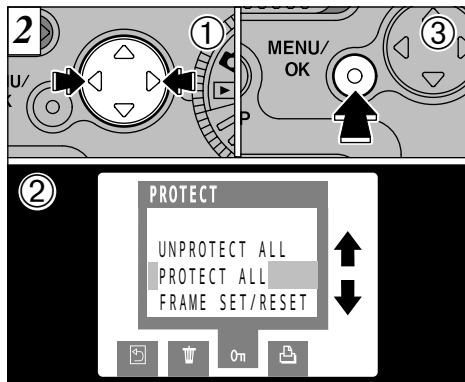
4

“ ◀▶ ”を押してプロテクトしたい画像を選びます。

“ MENU/OK ”を押すと画像がプロテクトされ、液晶モニターの右上に“ O┓ ”が表示されます。プロテクトをリセットするには、もう一度“ MENU/OK ”を押します。

❗プロテクトをやめたい場合は、“ ▼ ”を押し、メニューに戻ります。メニューを終了するには “ ◀▶ ” で “ ⮌BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

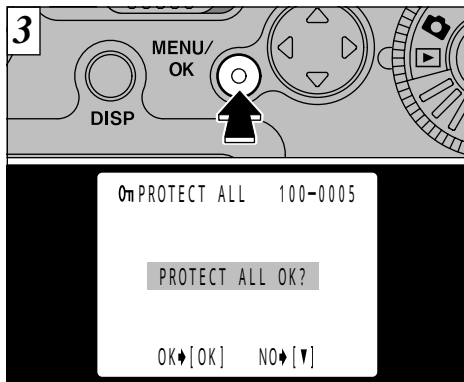
再生メニュー O╥ 全コマプロテクト セット/リセット

“ MENU/OK ”を押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

! メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

プロテクトされていても、“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます(➡41ページ)。

① “ ◀▶ ”を押して“ O╥PROTECT ”(プロテクト)を選びます。

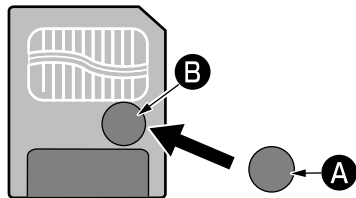
② “ ▲▼ ”で“ PROTECT ALL ”(全コマ セット)が“ UNPROTECT ALL ”(全コマ リセット)を選びます。

③ “ MENU/OK ”を押します。

4

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ MENU/OK ”を押して実行します。

❗プロテクトをやめたい場合は、“ ▼ ”を押し、メニューに戻ります。メニューを終了するには “ ◀▶ ” で “ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。
ライトプロテクトシールは、別売のスマートメディアに同梱されています。

＊必ず専用のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは66ページをご参照ください。

再生メニュー DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

スマートメディア

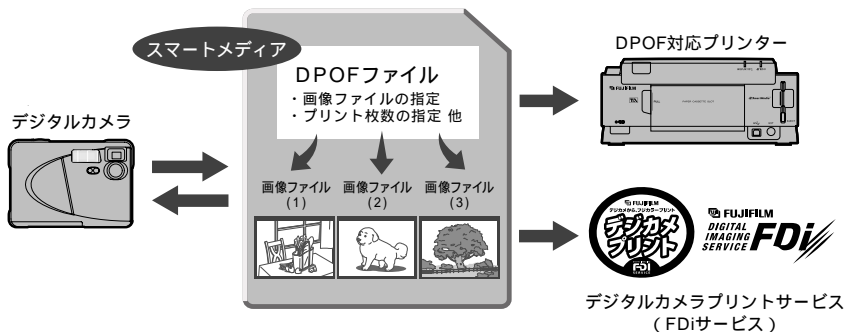
DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

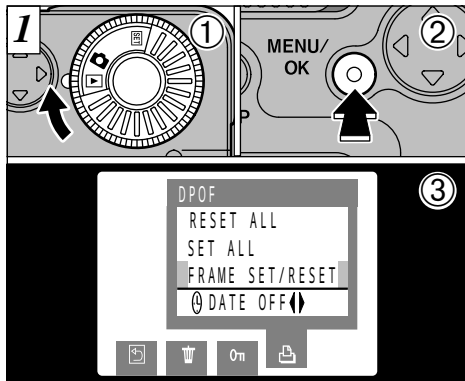
画像ファイル（1）　画像ファイル（2）　画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

FUJIFILM デジカメから、フジカラープリント デジカメプリント

FUJIFILM DIGITAL IMAGING SERVICE FDi

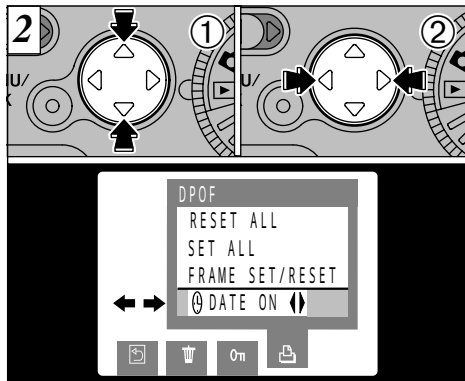
デジタルカメラプリントサービス
（FDiサービス）

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録ができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー 日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

①モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせ、

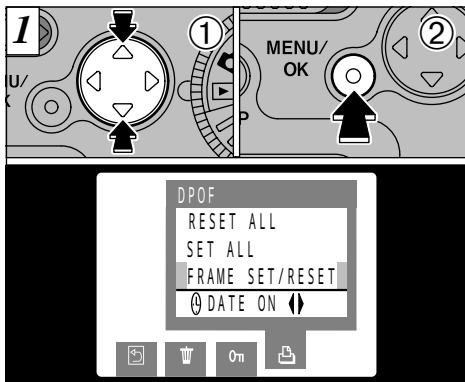
②“ MENU/OK ”を押して、液晶モニターにメニューを表示させます。

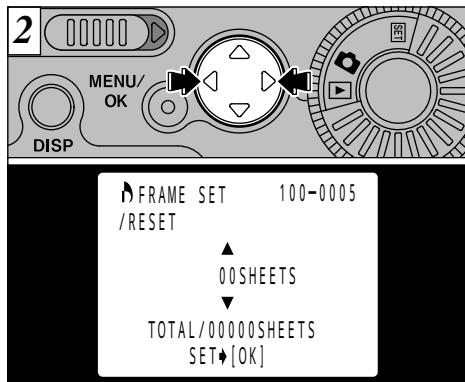
③“ ◀▶ ”で“ DPOF ”を選びます。

! メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。

①“ ▲▼ ”で“ DATE ”(日付)を選びます。

②“ ◀▶ ”を押すと、“ ON ”(日付あり)が“ OFF ”(日付なし)が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

! 他の設定の前に、必ず日付あり/なしの設定を行ってください。

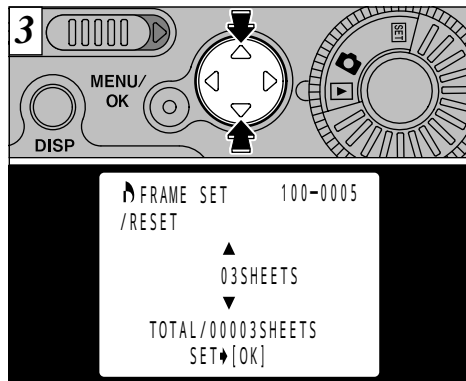
! 日付ありに設定しても電源を切ると、日付なしに戻ります。

再生メニュー 1コマセット/リセット

①“ ▲▼ ”で“ FRAME SET/RESET ”(1コマ セット/リセット)を選びます。
②“ MENU/OK ”を押します。

“ ◀▶ ”でセットまたはリセットするコマを表示させます。

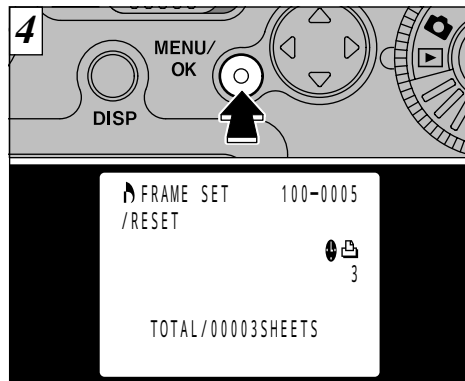
❗ メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び“ MENU/OK ”を押します。

❗ 指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

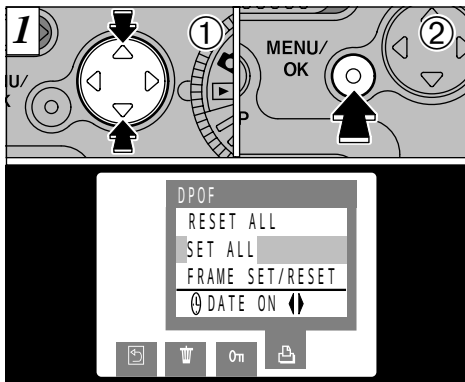
❗“ TOTAL ”(トータル)は指定したプリント枚数の合計です。

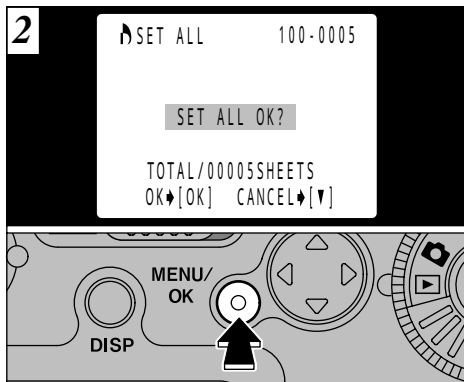
4

“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。

- “ ◀▶ ”でコマを送るか、“ MENU/OK ”を押すまでは設定は保存されません。
- プリントしない場合は “ 00 SHEETS ” にセットしてください（リセット）。

1コマセットを続けるには、2からの操作を繰り返します。

設定が終わったら、必ず“ MENU/OK ”を押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。
確定したコマには“ 凸 ”とプリント枚数、日付設定ありの場合は“ ◐ ”が表示されます。

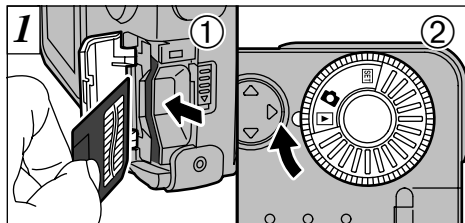
- “ MENU/OK ”を押さずに約10秒を経過するとメニューに戻ります。最後に選んだコマはセットされません。

再生メニュー 全コマセット/リセット

①“ ▲▼ ”で“ SET ALL ”(全コマセット)か “ RESET ALL ”(全コマリセット)を選びます。
②“ MENU/OK ”を押します。

- “ SET ALL ”(全コマセット)は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
- 1コマセットでの指定は解除されます。
- 同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。999コマ以上の指定をすると“ DPOF FILE ERROR ”警告が出ます。

実行を確認する画面が表示されます。実行する場合は“ MENU/OK ”を押します。液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

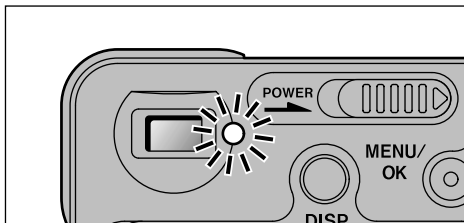
- メニューを終了するには“ ◀▶ ”で“ BACK ”を選び、“ MENU/OK ”を押します。
- “ RESET ALL ”(全コマ リセット)した場合は “ TOTAL ”(トータル)は“ 00000 SHEETS ”になります。

4

パソコンに画像を転送するには

①スマートメディアをセットします(➡12ページ)。
②電源を入れてから(➡14ページ)、モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせます。

カメラのデジタル(USB)端子に専用USBケーブルの小さいプラグを接続し、もう片方のプラグをパソコンのUSB端子に接続します。
パソコンの電源が入っていると液晶モニターの左上に“ USB ”が表示されます。

❗専用USBケーブル以外は使用しないでください。
❗ソフトウェアのインストールのしかたと使いかたは付属のUSBインターフェースセットの簡単操作ガイドをご覧ください。

❗Windows 98(Second Editionを含む)、Windows 2000 Professional、MacOS8.5.1〜MacOS9.0で利用可能です。
ただし、USBポートのある機種(自作パソコンは動作保証外です)に限ります。
❗パソコンと接続されているときは、オートパワーオフしません。

ファインダーランプが橙色に点灯または点滅しているときは、アクセス中(転送中)です。アクセス中は、絶対にスロットカバーを開けたり、ケーブルを抜いたりしないでください。データが転送されなかったり、カメラが正常に作動しない場合があります。

! スロットカバーを開けると電源が切れます。

◆スマートメディアを交換するときは◆

❶次のことを確認、操作します。

- **Windows 98の場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。
- **Windows 2000 Professionalの場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。確認できたら、タスクバー上の「取り外し」アイコンをクリックします。
- **Macintoshの場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。確認できたら、デスクトップ上の「リムーバブルドライブ」アイコンを「ごみ箱」にドラッグ＆ドロップします。

❷カメラの電源をOFFにしてスマートメディアを交換します。

! 必ず同梱のインターフェイスセットをご使用ください。従来品はご使用になれません。
従来品がパソコンにインストールされている場合は、アンインストールしてから、付属のインターフェイスセットのソフトウェアをインストールしなおしてください。

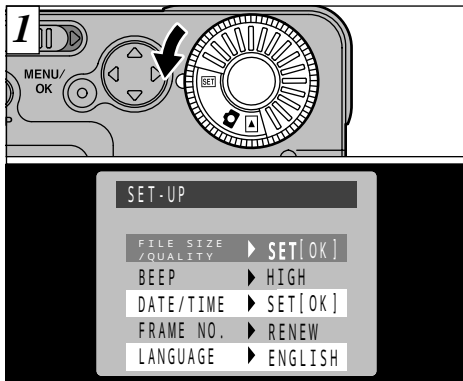
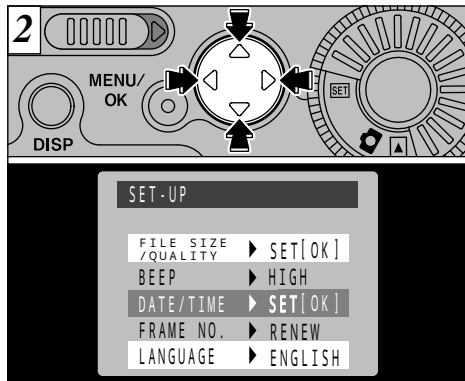
! ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH(別売)の接続をおすすめします(➡11ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

4

SET セットアップ

▶設定項目は次のとおりです。

項目名	表　示	工場出荷時	内　　容
FILE SIZE/QUALITY	SET［OK］	1280×960 /NORMAL	記録する画像サイズ・圧縮率の組み合わせを変更します(➡56ページ)。
BEEP	HIGH/LOW/OFF	HIGH	操作したときのブザー音量を切り換えます。“ OFF ”にすると音が鳴りません。
DATE/TIME	SET［OK］	—	日付・時刻を設定できます(➡15ページ)。
FRAME NO.	RENEW/CONT.	OFF	コマNO.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます(➡57ページ)。
LANGUAGE (表示言語の切り換え)	ENGLISH/ FRANÇAIS	ENGLISH	画面表示を英語か仏語に切り換えます。 ＊本書では英語の画面で説明しています。

＊操作のしかたは次ページをご参照ください。

モードダイヤルを“ SET ”に合わせます。

“ ▲▼ ”で項目を選択し、“ ◀▶ ”で設定を変更して決定します（日時設定、ピクセル/クオリティーを除く）。
終了するには、モードダイヤルを“ 📷 ”か“ ▶ ”に合わせます。

5

ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）

2種類のピクセル（画像サイズ）と、3種類のクオリティー（圧縮率）の組み合わせを選べます。目的に応じた設定をしてください。

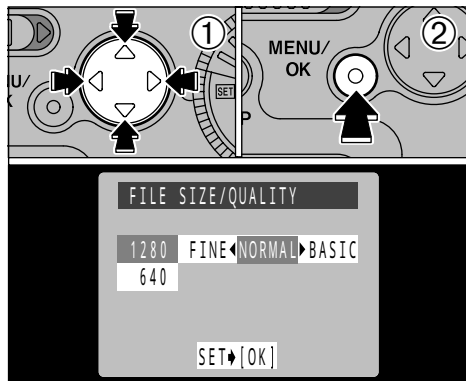
プリントをきれいに仕上げるには

大きな画像サイズ（1280×960）で、低い圧縮率（FINEかNORMAL）を使用します。ただし、1コマのデータ容量が増えるため、撮影可能枚数は少なくなります。

インターネット用途で使用するには

パソコンの画面で見ることが目的なので、小さな画像サイズ（640×480）を使用します。この場合、1コマのデータ容量は少ないため、撮影可能枚数は多くなります。

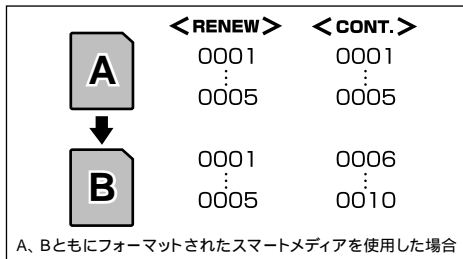
クオリティー（圧縮率）について

画質を優先する場合は“FINE”を、枚数を優先する場合は“BASIC”を選んでください。
通常は“NORMAL”で十分な画質が得られます。

①“▲▼”でピクセル設定を変更し、“◀▶”でクオリティー設定を変更します。
②“MENU/OK”を押して決定します。

! ピクセルとクオリティーの組み合わせは、全部で4種類になります（➡21ページ）。

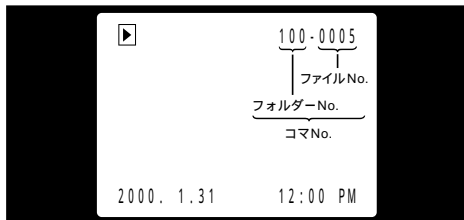
コマNO.メモリー設定

	<RENEW>	<CONT.>
A	0001 ⋮ 0005	0001 ⋮ 0005
↓		
B	0001 ⋮ 0005	0006 ⋮ 0010

A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

RENEW　：スマートメディアごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

CONT.　：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ CONT. ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

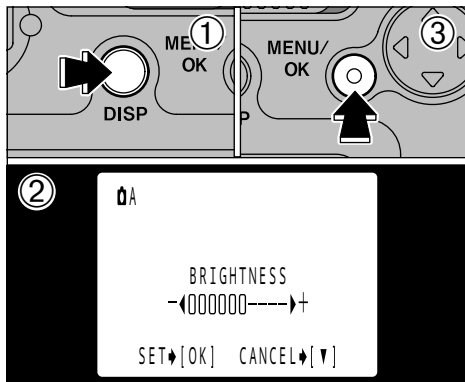
❗記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上の3けたはフォルダーNo.です。

❗スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNO.メモリーが機能しません。

❗ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999－9999までカウントされます。

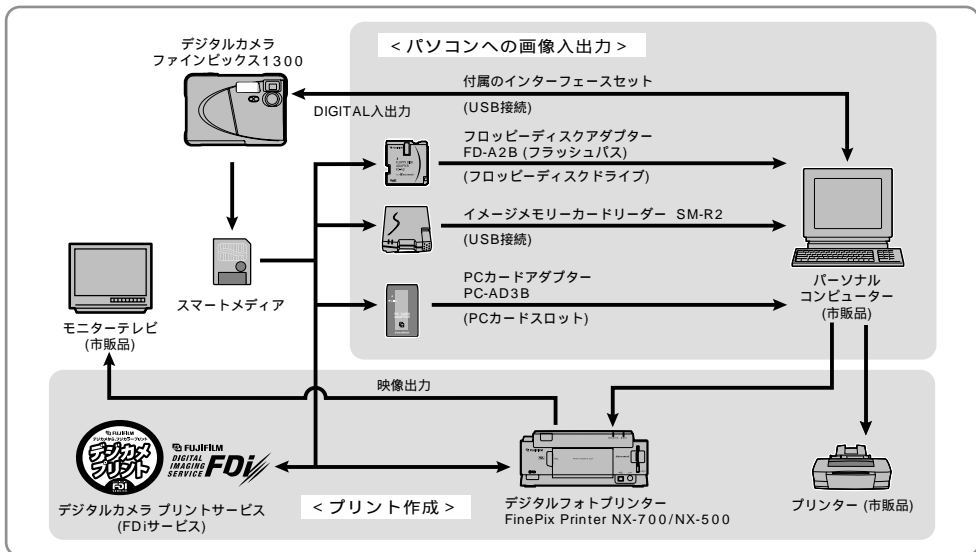
❗コマNO.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。

❗他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

液晶モニターの明るさ調節

①約2秒間" DISP "を押し続けると、明るさ調節画面が表示されます。
②" ◀▶ "で明るさを調節します。
③" MENU/OK "を押して決定します。

❗液晶モニターがOFFのときや、撮影モードで文字表示のないとき（➡17、22、29ページ）は設定を変更できません。

システムアップ機器（別売）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

平成12年9月現在

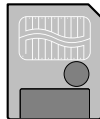
その他 別売アクセサリーの紹介（平成12年9月現在）

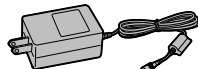
▶使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

●スマートメディア™

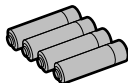
別売のスマートメディアです。以下のものがお使いいただけます。

- ●MG-4SB ： 4MB、3.3V仕様
- ●MG-8SB ： 8MB、3.3V仕様
- ●MG-16SB ：16MB、3.3V仕様
- ●MG-32SB ：32MB、3.3V仕様
- ●MG-16SW ：16MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-32SW ：32MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-64SW ：64MB、3.3V仕様（ID付き）

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

●ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH

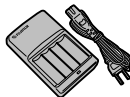
長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100V〜240V、50/60Hz 対応）

AC-5VH

●単3形ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1600」

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「HR-AA/4B」をお買い求めください。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH） ＊AC100V 対応

「ニッケル水素1600」4本を約170分間で充電できます。
ニカド電池「ハイパワー1000」4本を約120分間で充電できます。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプ（FNW） ＊AC100V〜240V 対応

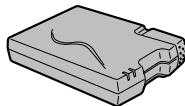
「ニッケル水素1600」4本を約210分間で充電できます。
ニカド電池「ハイパワー1000」4本を約130分間で充電できます。

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

- フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
  Windows95/98/98 Second Edition（DOS/V機）
  Windows95 4.00.950B OSR2以降/98（NEC PC-9821シリーズ）
  Mac OS7.6.1〜Mac OS8.1/Power Macintosh（読み込みのみ）

●イメージメモリーカードリーダー SM-R2

イメージメモリーカード（スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なデータ転送を行います。

- Windows98（Second Editionを含む）・Windows2000 Professional/iMac、およびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh・Mac OS8.5〜9.0

●PCカードアダプター PC-AD3B

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1/JEIDA4.2）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。

●ソフトケース SC-CI 5

ナイロン製の専用のケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

用語の解説

AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しすると露出を固定（AEロック）します。露出を決めてから構図を変えたい場合には、AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exifファイル形式：Exif（イグジフ）は、日本電子工業振興協会（JEIDA）で承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF（ティフ）やJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG：JPEG（ジェイペグ）は、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、このカメラでは約2分間何も操作をしないと自動的に電源をOFFします。
オートパワーオフを無効にした場合またはUSB接続時は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

使用上のご注意

▶ **ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。**

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- ●湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつく（結露）ことがあります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなるのを待ってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池・スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池や単3形ニカド電池を使用してください。
  単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因になることがありますので使用しないでください。
- アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命（使用時間）がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、4本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池/ニカド電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔かい布で丁寧に清掃してください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

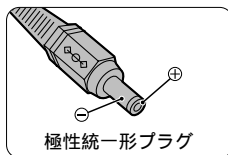
■小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池/ニカド電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池/ニカド電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-5V/AC-5VH（別売、EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-5V/AC-5VH以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- 電池がない状態でACパワーアダプターを抜くと、日付がクリアされる場合があります。その場合は、日付を設定し直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia™（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて

SmartMedia™ ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々に番号（ID）を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名やファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。

■主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia™（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×45×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
▯	カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディアを入れるか、スマートメディアの向きを直してください。
!CARD NOT INITIALIZED	スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
!CARD ERROR	●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
!CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!READ ERROR	●正常に記録されていないデータを再生した。 ●カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。

警告表示	警告内容	処　　置
!FILE LIMIT	コマNo.が999―9999に達している。	コマNo.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボを強制発光にしてください。または三脚を使用してください。
!PROTECTED FRAME	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトをリセットしてください。
!DPOF	DPOF指定されているコマを消去しようとした。	DPOFをリセットしてください。
! AE	AE連動範囲外です。	撮影できますが、適正露出ではありません。
!RESET UNMATCHED DPOF OK?	DPOFファイルにエラーがある。または、他の機器で設定したDPOFファイルです。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“ MENU/OK ”ボタンを押してください。
!DPOF FILE ERROR	DPOFのコマ設定で999コマを超えてプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●新しい電池と交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●電池が消耗している。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボが発光禁止になっている。 ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光またはスローシンクロにする。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押す。

症　状	原　因	処　置
ストロボ撮影ができない。	●マクロ撮影になっている。 ●連写モードになっている。	●マクロ撮影を解除する。 （強制発光・スローシンクロでは撮影可） ●連写を“ OFF ”にする。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボが発光禁止になっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光またはスローシンクロにする。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●遠景をマクロ撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロ撮影を解除する。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。
全コマ消去で、すべてのコマが消せない。	●コマがプロテクトされている。 ●コマがDPOF指定されている。	●プロテクトをリセットする。 ●DPOFをリセットする。
カメラのボタンやダイヤルを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●新しい電池と交換する。
電源を入れても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。

主な仕様

システム

●**型式**
デジタルカメラ
●**記録メディア**
スマートメディア（3.3V仕様）
●**スマートメディア標準撮影枚数**
撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準撮影枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	1280×960			640×480
クオリティーモード	FINE	NORMAL	BASIC	NORMAL
画像圧縮率	約1/4	約1/8	約1/16	約1/8
画像1枚のデータサイズ	約610KB	約310KB	約160KB	約90KB
MG-4S（4MB）	6	12	23	44
MG-8S（8MB）	12	24	47	89
MG-16S(16MB)	25	49	89	164
MG-32S(32MB)	50	99	180	330
MG-64S(64MB)	101	198	362	663

●**記録方式**
DCF準拠（Exif Ver.2.1 JPEG準拠）/DPOF対応
●**記録画素数**
1280×960ピクセル/640×480ピクセル
●**撮像素子**
1/2.7型正方画素原色インターライン方式CCD
総画素数：約131万
●**撮像感度**
ISO125相当
●**レンズ**
フジノン単焦点レンズ F4.5/F11
●**焦点距離**
f＝5.8mm（35mmカメラ換算 36mm）
●**ファインダー**
実像式光学ファインダー、視野率：約80％
●**露出制御**
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時：露出補正可能）
●**ホワイトバランス**
オート（マニュアル撮影時：7ポジション選択可能）
●**撮影可能範囲**
標準　：約70cm～無限遠
マクロ：約8～15cm
●**シャッター速度**
可変速　1/2秒～1/1000秒（メカニカルシャッター併用）
●**絞り**
F4.5/F11 自動切り換え
●**セルフタイマー**
タイマー時間約10秒
●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**
1.6型 5.5万画素 D-TFD

●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.7m～3.0m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
　　　　　　　スローシンクロ

入・出力端子

●**デジタル（USB）端子**
パソコンへのデータの転送
●**DC入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH接続

電源部、その他

●**電源**
単3形アルカリ乾電池 4本使用
単3形ニッケル水素電池 4本使用（別売）
単3形ニカド電池 4本使用（別売）
専用ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH使用（別売）
●**電池撮影可能枚数**（充電式電池はフル充電した場合）

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約260枚	約800枚
ニッケル水素電池 HR-AA	約300枚	約800枚
ニカド電池 KR-AA（HP）	約180枚	約500枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。

●**使用条件**
温度0℃～＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
●**本体外形寸法**
110×77×39mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含まず）
●**本体質量**
約200g（電池、スマートメディア含まず）
●**撮影時質量**
約300g（電池、スマートメディア含む）
●**付属品**
5ページをご参照ください。
●**別売アクセサリー**
60、61ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、または弊社サービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

■型名　　　：FinePix1300
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日